

令和7年度 評価実施後5年経過した事業箇所の再評価項目表

事業主体	新潟県	事業名	社会資本整備総合交付金（下水道事業）
事業箇所	新潟市他3市町	工区名	阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)

1 事業の概要

<p>① 事業の目的・効果・必要性等</p> <p>阿賀野川右岸北部地域は、新潟市のベッドタウンとして拡大しながら、新潟東港は日本海側最大級の産業港としてコンテナ輸送が普及し、同時に背後の工業団地もほぼ完売するなど、工業も進捗した。その人口の集中及び産業の発展に伴い、市街地内を流れる新井郷川、新発田川および中小河川は年々水質汚濁が進行してきた。</p> <p>阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)事業は、これらの地域の生活環境の改善と新井郷川及び新潟東港周辺海域の水質保全を目的として、平成4年度より新潟市（旧新潟市、旧豊栄市）、新発田市（旧新発田市、旧紫雲寺町、旧豊浦町）、阿賀野市（旧水原町、旧京ヶ瀬村、旧笹神村）、聖籠町の3市1町を対象として事業着手し、平成9年度に一部供用開始、平成18年度に旧9市町村の全てが供用し、未整備区域の面整備を鋭意実施している。</p>																																		
<p>② 事業内容</p> <p>処理面積：5,990.43 ha 処理人口：156,598 人 処理能力：84,700 m³/日 幹線管渠：70.8 km(放流渠含む) 中継ポンプ場：3 箇所</p>	<p>③ 残事業内容</p> <p>処理面積：612.98 ha 処理人口：3,399 人 処理能力：31,350 m³/日 幹線管渠：1.8 km</p>																																	
<p>④ 総事業費</p> <p>県 92,950 百万円 [74,541 百万円] 市町 168,723 百万円 [189,672 百万円] 県+市町 261,673 百万円 [264,213 百万円]</p>	<p>⑦ 進捗率（事業費ベース）</p> <p>県 80%(= 74,125 / 92,950) 市町 86%(= 144,928 / 168,723) 県+市 84%(= 219,053 / 261,673)</p>																																	
<p>⑤ 執行済事業費</p> <p>県 74,125 百万円 [69,770 百万円] 市町 144,928 百万円 [138,167 百万円] 県+市町 219,053 百万円 [207,937 百万円]</p>	<p>⑧ 現在の費用対効果(B/C)〔基準年 R7年〕</p> <p>全体事業B/C=1.79 (=1,710,369 / 957,063) 残事業B/C=1.57 (= 73,738 / 46,973)</p>																																	
<p>⑥ R8年度以降残事業費</p> <p>県 18,825 百万円 [4,771 百万円] 市町 23,795 百万円 [51,505 百万円] 県+市町 42,620 百万円 [56,276 百万円]</p>	<p>⑨ 前回費用対効果(B/C)〔基準年 R2年〕</p> <p>全体事業B/C=1.63 (=1,081,699 / 665,333)</p>																																	
<p>⑩ 便益の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(全体事業)</th> <th>(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周辺環境の改善</td> <td>1,101,306 百万円 [678,397 百万円]</td> <td>41,111 百万円</td> </tr> <tr> <td>居住環境の改善</td> <td>403,008 百万円 [280,621 百万円]</td> <td>23,561 百万円</td> </tr> <tr> <td>公共用水域の水質保全</td> <td>207,988 百万円 [122,539 百万円]</td> <td>9,339 百万円</td> </tr> <tr> <td>残存価値</td> <td>-1,933 百万円 [142 百万円]</td> <td>-273 百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,710,369 百万円 [1,081,699 百万円]</td> <td>73,738 百万円</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	周辺環境の改善	1,101,306 百万円 [678,397 百万円]	41,111 百万円	居住環境の改善	403,008 百万円 [280,621 百万円]	23,561 百万円	公共用水域の水質保全	207,988 百万円 [122,539 百万円]	9,339 百万円	残存価値	-1,933 百万円 [142 百万円]	-273 百万円	合計	1,710,369 百万円 [1,081,699 百万円]	73,738 百万円	<p>⑪ 費用の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(全体事業)</th> <th>(残事業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設費(用地費含む)</td> <td>739,086 百万円 [516,888 百万円]</td> <td>28,692 百万円</td> </tr> <tr> <td>改築更新費</td> <td>151,919 百万円 [105,164 百万円]</td> <td>8,423 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>66,058 百万円 [43,281 百万円]</td> <td>9,858 百万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>957,063 百万円 [665,333 百万円]</td> <td>46,973 百万円</td> </tr> </tbody> </table>		(全体事業)	(残事業)	建設費(用地費含む)	739,086 百万円 [516,888 百万円]	28,692 百万円	改築更新費	151,919 百万円 [105,164 百万円]	8,423 百万円	維持管理費	66,058 百万円 [43,281 百万円]	9,858 百万円	合計	957,063 百万円 [665,333 百万円]	46,973 百万円
	(全体事業)	(残事業)																																
周辺環境の改善	1,101,306 百万円 [678,397 百万円]	41,111 百万円																																
居住環境の改善	403,008 百万円 [280,621 百万円]	23,561 百万円																																
公共用水域の水質保全	207,988 百万円 [122,539 百万円]	9,339 百万円																																
残存価値	-1,933 百万円 [142 百万円]	-273 百万円																																
合計	1,710,369 百万円 [1,081,699 百万円]	73,738 百万円																																
	(全体事業)	(残事業)																																
建設費(用地費含む)	739,086 百万円 [516,888 百万円]	28,692 百万円																																
改築更新費	151,919 百万円 [105,164 百万円]	8,423 百万円																																
維持管理費	66,058 百万円 [43,281 百万円]	9,858 百万円																																
合計	957,063 百万円 [665,333 百万円]	46,973 百万円																																

※ ④～⑥、⑩、⑪の[]内は前回再評価時の数値

※ 総事業費：事業に必要な調査設計費、用地買収費、工事費、事務的経費等の総額

※ 総費用：総事業費に維持管理費(下水道事業は更新費用も含む)を加え、その金額を現在価値化したもの

2 評価の視点

<p>⑫事業の進捗が遅れている理由（前回評価時からの変化、遅れを取り戻す工夫や取組状況も併せて記載）</p> <p>当事業は、流域関連市町の面整備進捗と流入水量の増加に合わせ処理施設の増設を行うものであり、短期間で事業が終了するものではない。</p> <p>前回評価以降も流域関連市町の面整備は着々と進められており、社会情勢の変化を踏まえた計画の見直しはあるが、事業の進捗に遅れはない。</p>
<p>⑬事業を継続することにより発揮される効果（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>管渠整備率は97%となり概成しており、中継ポンプ場についても3箇所全て供用している。面整備の進捗に伴い流入水量が増加するため、水処理施設を増設する計画であり、今後も事業を継続することで公共用水域の水質保全や地域の生活環境の改善が期待できる。</p>
<p>⑭便益として貨幣換算していないが、事業により見込まれる効果</p> <ul style="list-style-type: none">・病原性微生物等による人的健康被害の低減・処理によって発生する副産物（汚泥、消化ガス等）の資源化および二酸化炭素排出の削減・水環境の向上による、福島潟などの水域における多種多様な生物の保護や親水空間の創出
<p>⑮社会経済情勢の変化（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>新井郷川処理区内の行政人口は、令和6年度末時点で新潟市北区 69,752 人、新発田市 91,157 人、阿賀野市 38,890 人、聖籠町 13,958 人の計 213,757 人であり、令和元年度末時点の 226,149 人から 12,392 人減少している。一方、世帯数は、令和6年度末時点で 87,792 世帯であり、令和元年度末時点の 85,464 世帯から 2,328 世帯増加している。事業所数及び1人1日当りの生活污水量は横ばいであり、大きな情勢の変化はない。</p>
<p>⑯B/Cの変化の要因（前回評価時から需要予測等の変化、全体事業費の変化要因について記載）</p> <p>費用については、処理区域の減少に伴い市町の管渠建設費が減額となった一方、汚水量は今後増加する見込みであり、処理場の増設に係る費用が増額となった（減額要素が大きいため総事業費は減）。</p> <p>便益については、処理区域の減少に伴い対象施設が減少した一方、「下水道事業における費用効果分析マニュアル」の改定に伴い、カバー費用等の代替単価が上昇した。</p> <p>費用および便益どちらも増額となったが、便益の増額幅が大きかったため、結果、前回評価よりも B/C が増加している。（B/C 1.63→1.79）。</p>
<p>⑰コスト縮減、代替案の可能性（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>社会経済情勢の変化を考慮し令和3年度に計画の見直しを行っており、流入量予測に基づき適切な規模の処理施設を計画する等、コスト縮減を図っている。また、流入水量に応じた段階的な整備を行うことにより、適切な時期の整備に努めている（令和3年に新発田市の新栄町中継ポンプ場が運用開始）。</p>
<p>⑱関係機関等の意向、関連事業と調整状況等（前回評価時からの変化についても記載）</p> <p>農業集落排水の流域下水道への接続等について、流域関連市町と積極的な調整を図っている。</p>

3 今後の実施方針（案） ※今後の見通しを併せて記載のこと

<p>残事業の費用対効果は1.57であり、未整備区域の面整備を継続する。</p> <p>また、他の汚水処理施設の統廃合による広域処理を推進し汚水処理の効率化を図るとともに適切な維持管理・改築更新により既存施設を健全に保ち、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質を保全するため事業を継続する。</p>

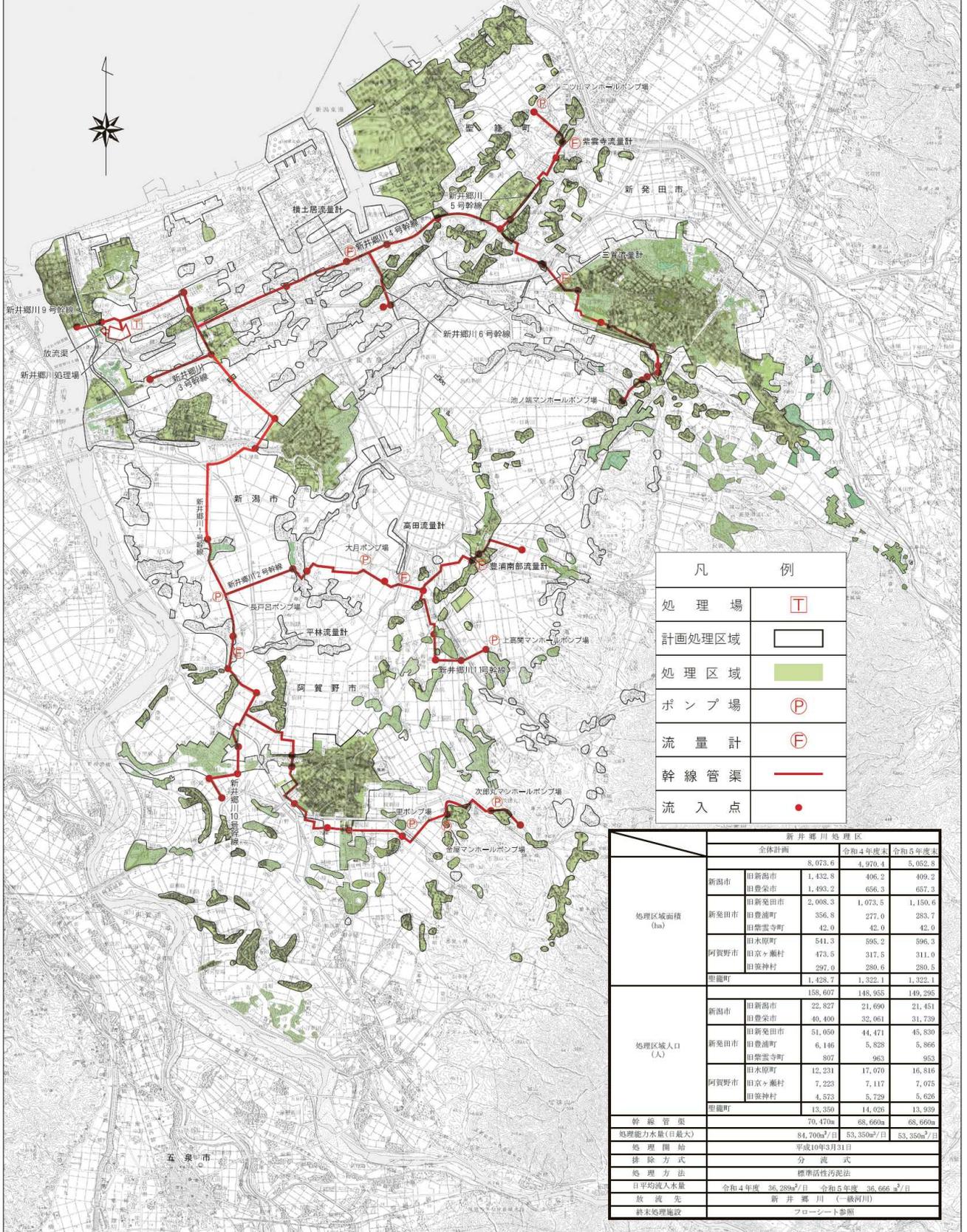
4 経緯

区分	当初計画(H4)	前回再評価(H17)	前回再評価(H22)	前回再評価(H27)
工期	H4～H22	H4～H27	H4～H42	H4～H42
総事業費				
県	59,000百万円	92,153百万円	81,375百万円	69,131百万円
市町	195,000百万円	228,248百万円	182,221百万円	161,935百万円
県＋市町	254,000百万円	320,401百万円	263,596百万円	231,066百万円
事業内容				
処理面積	7,911ha	8,423ha	8,271ha	5,858ha
処理人口	239,700人	221,600人	183,777人	166,450人
幹線管渠	57.6km	70.0km	70.8km	70.8km
処理能力	196,500m ³ /日	154,300m ³ /日	110,500m ³ /日	54,750m ³ /日
中継ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所
費用対効果 (B/C)		B/C=1.75 (=581,262/332,179)	B/C=1.69 (=536,203/317,565)	B/C=1.86 (=872,444/468,341)

区分	前回再評価(R2)	今回再評価(R7)		
工期	H4～R24	H4～R25		
総事業費				
県	74,541百万円	92,950百万円		
市町	189,672百万円	168,723百万円		
県＋市町	264,213百万円	261,673百万円		
事業内容				
処理面積	6,557ha	5,990ha		
処理人口	154,713人	156,598人		
幹線管渠	70.8km	70.8km		
処理能力	64,350m ³ /日	84,700m ³ /日		
中継ポンプ場	3箇所	3箇所		
費用対効果 (B/C)	B/C=1.63 (=1,081,699/665,333)	B/C=1.79 (=1,710,369/957,063)		

阿賀野川流域下水道（新井郷川処理区）計画図

S=1:88,000



処 理 場	T
計画処理区域	□
処 理 区 域	■
ポ ン プ 場	P
流 量 計	F
幹 線 管 渠	—
流 入 点	●

	全体計画			令和4年度末	令和5年度末
	8,073.6	4,970.4	5,062.8		
処理区域面積 (ha)	新潟市	旧新潟市	1,432.8	406.2	409.2
		旧豊栄市	1,493.2	656.3	657.3
	新発田市	旧新発田市	2,008.3	1,073.5	1,150.6
		旧豊浦町	356.8	277.0	283.7
		旧豊雲寺町	42.0	42.0	42.0
	阿賀野市	旧水原町	541.3	596.2	596.3
		旧京ヶ瀬村	473.5	317.5	311.0
		旧笹神村	297.0	280.6	280.5
	豊浦町		1,428.7	1,322.1	1,322.1
	計		158,607	148,955	149,295
処理区域人口 (人)	新潟市	旧新潟市	23,827	21,690	21,451
		旧豊栄市	40,400	32,061	31,739
	新発田市	旧新発田市	51,050	44,471	45,830
		旧豊浦町	6,146	5,828	5,866
		旧豊雲寺町	807	963	953
	阿賀野市	旧水原町	12,231	17,070	16,816
		旧京ヶ瀬村	7,223	7,117	7,075
		旧笹神村	4,573	5,729	5,626
	豊浦町		13,350	14,026	13,939
	計		70,470	68,660	68,660
幹線管渠	70,470m				
処理能力水量(日最大)	84,700m ³ /日 53,350m ³ /日 53,350m ³ /日				
処 理 機 種	平成10年3月31日				
操 縦 方 式	分 流 式				
処 理 方 法	標準活性汚泥法				
日平均流入水量	令和4年度	36,289m ³ /日	令和5年度	36,656m ³ /日	
放 流 先	新 井 郷 川 (一級河川)				
終末処理施設	フローシート参照				

